

【小鷲河地区公民館】

事業名	ヤマメの放流 & 花植え
目的	この事業は地元の幼稚園児と地域の方々が一緒になって自然に親しみ世代間交流を図ることと、きれいで魚がたくさん泳いでいる小鷲河の自然を取り戻したいという環境保護の気持ちを育んでもらおうという目的で10年前から毎年行っています。
事業概要	<p>6月23日(火) 廃校となった旧鹿野町小鷲河小学校横にある「かじかの里公園」でこじか園園児23名と地域及び鹿野河内川保護協会の方10名、計33名で河内川にヤマメ稚魚250匹を放流し、その後小鷲河小学校グランド花壇に日日草等の花苗を植えました。</p> <p>初めに公民館長の挨拶、河内川保護協会会長さんの放流のやり方の話を聞いた後でヤマメをバケツに入れ園児に川岸まで大切に運んでもらいました。</p> <p>園児たちは「おおきくなってね」「元気に育ってね」といいながら丁寧に放流し歓声をあげていました。放流が終わってから花苗を植え、水やりをしました。</p> <p>小鷲河地区公民館は毎年7月末にはヤマメのつかみ取りの事業も行っています。また花壇に植えた花は秋の地区運動会等で地域の方に観賞、喜んでいただいています。</p> <p>地域の方は自然を大切にすることがたくさん育ってほしいと話しておられました</p>
工夫した点 成 果	放流する川岸は毎年水に流され形が変わってしまう為、放流しやすい場所の確保及び放流場所までの通路を歩きやすい様に草刈り等の事前準備をして事故等が起こらない様に工夫をしています。
所 見 アドバイス等	運んできた稚魚が放流するまでに時間がかかると弱ってしまうのでタイムスケジュールをしっかりと事前確認しておくことが重要です。園児たちの自然を大切にする気持ちの育成ができ充実した内容の事業でした。



ヤマメの放流



花植え作業